


十条北ブロック 第16回ブロック部会 議事要旨	
開催日時	平成28年12月14日(水) 14:00~15:35
開催場所	上十条五丁目町会会館
出席者	部会役員：松岡部会長、小池副部会長、石原役員 事務局：北区 十条まちづくり担当課 岩本課長、徳田主査、荻野、根本 コンサル：地域総合計画研究所 森井、齋藤、三浦 オブザーバー：北区 土木政策課 整備係 富塚係長、梶川
参加者	10名(部会役員を除く)
議題等	1. 開会あいさつ 2. 防災ふれあい広場整備検討ワークショップ ○ガイダンス ○ワークショップ 3. 今後の予定 4. 閉会あいさつ
	
【第16回十条北ブロック部会の様子】	

議事要旨

1. 開会あいさつ

——十条北ブロック部会長あいさつ——

これより第16回の十条北ブロック部会を始めたいと思います。この度、区で広場用地を確保してくれたということで、そこをどのような広場にしていくのか、本日のワークショップで話し合っていければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 防災ふれあい広場整備検討ワークショップ

——ガイダンス——

防災ふれあい広場整備検討ワークショップを行うにあたり、事前のガイダンスとして次の説明を行った。

- (1) ワークショップの目的
- (2) 区が取得した広場用地の紹介
- (3) 2年前のワークショップの振り返り
- (4) 防災広場の整備事例

——ワークショップ——

○テーマ

「防災ふれあい広場」整備のためのワークショップ

○実施目的

- ・区が取得した広場用地（上十条5-25-9）を周知し、地域の皆さまと防災ふれあい広場の整備案について意見交換を行う。
- ・防災ふれあい広場に必要な設備などについて、地域の皆さまからご意見いただき、今後の整備内容を定める上での参考とする。

2つのグループに分かれ、それぞれ次の手順でワークショップを行った。

【step1】住民の皆さんが考える“広場”とは？（10分程度）

【step2】それぞれの考えを整理してみよう（15分程度）

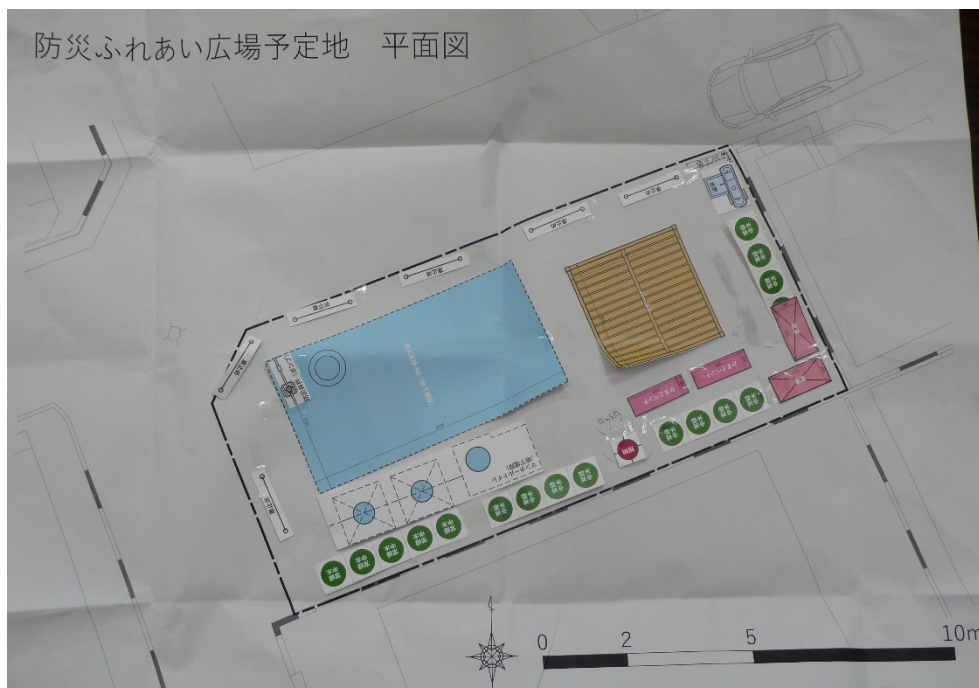
【step3】実際の広場をイメージしてみよう（15分程度）

【step4】グループ内で発表の準備（5分程度）

【step5】グループ発表（各グループ5分程度）

——グループ別発表のまとめ——

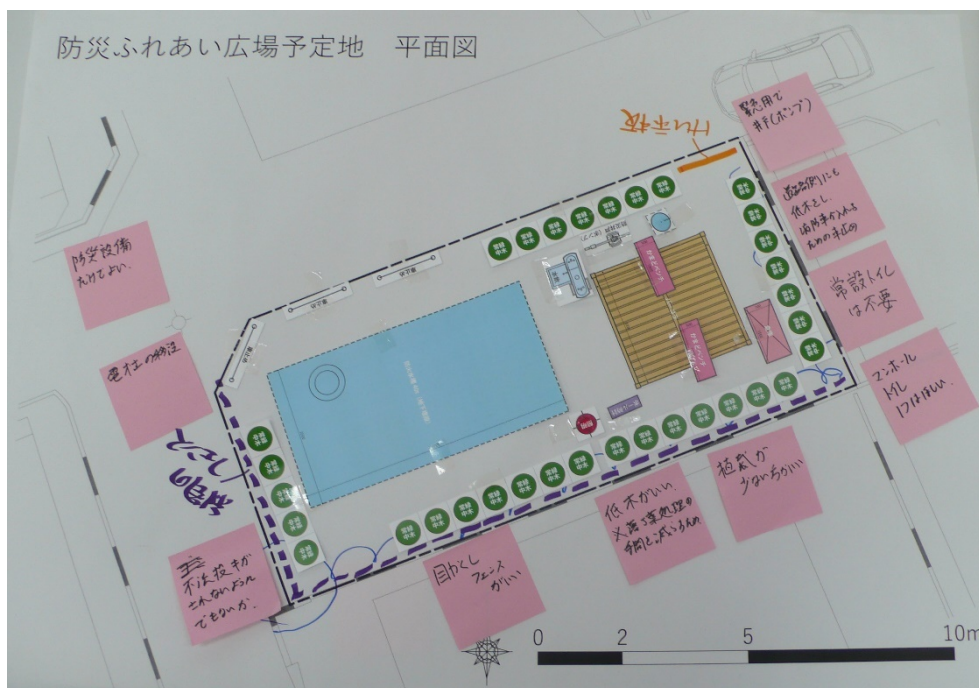
<Aグループ>



- ・広場整備の一番の目的は、火災の危険の高いこの地域に「防災広場」をつくること。
- ・設備としては、防火貯水槽は必ず設置したい。
- ・緊急時にシートで覆って避難所としても使えるパーゴラが必要。パーゴラは、夏の日除けにもなる。
- ・可能であれば、防火貯水槽の水を汲み上げる防災井戸（ポンプ）を設置したい。
- ・人と人が触れ合う場所も大事だが、100㎡程度の広場なので、なるべくいろいろなものは置かないほうがよい。
- ・常設のトイレは必要ないが、マンホールトイレは2～3基必要。
- ・倉庫は、2つ程度を隣地境界側に設置したい。
- ・日常時には、子どもも利用するので、水飲み場くらいはあるとよい。

- ・隣地の建物側に灯りが向かないよう配慮した照明が必要。
- ・敷地境界には、できれば中木の常緑樹を植えるのがよい。
- ・消防車が広場で活動できるように、道路側の2方向とも、可動式の車止めを設置するなどして開放されているのがよい。
- ・町内会の掲示板を道路側に設置してほしい。

<Bグループ>



- ・設備としては、防災設備が揃っていればよい。
- ・防火貯水槽を必ず設置したい。
- ・緊急時に1基のマンホールトイレを設置したい。常設のトイレは必要ない。
- ・緊急時に井戸（ポンプ）があるとよい。
- ・広場周辺の方々への配慮もしっかり考えたほうがよい。
- ・隣地の住宅との境界には、目隠しフェンスを設置したい。境界に植える植栽については、周辺の方々へ落ち葉処理の迷惑がかからないように、常緑の低木がよい。
- ・管理の手間を考慮すると植栽は少ない方がよく、大きな樹木も必要ない。
- ・敷地西側の道路沿いは、ゴミの不法投棄がされないようフェンスを設置したい。
- ・現在、勝手に広場整備予定地に入り転回する車が多数いる。車に転回されないように、敷地北側の道路沿いには低木を植え、緊急時には消防車が入れるように、車止めを設置したい。
- ・敷地の北西角に残る電柱は、消防車が入れるように移設してほしい。
- ・その他設けたい設備：防災井戸、倉庫（管理用）、かまどベンチ（2基）、水飲み場、照明設備（ソーラータイプ含む）、時計（ソーラータイプ含む）、パーゴラ、掲示板

3. 今後の予定

次回（第17回）のブロック部会は、平成29年2月～3月の開催を予定し、内容としては防災ふれあい広場の管理方法について話し合う予定である旨を伝えた。

———質疑応答———

参加者：今のままだと、勝手にロープを外して車が転回する上に、ゴミの不法投棄がされているので、広場周辺の方々のためにも、仮囲いを早く設置していただきたい。

参加者：敷地内の雑草もしっかり対応していただきたい。

北区：仮囲いを設置できるように関係部署と調整していく。また敷地内の雑草の管理については、防草シートを敷くことができるかなど、関係部署と検討させていただきたい。

4. 閉会あいさつ

———十条北ブロック副部長あいさつ———

2年前にモデル敷地でのワークショップを行いました。今回実際の広場整備予定地でのワークショップを行ったわけですが、大いに盛り上がりましたね。今後、皆さまのご意見がどのような形で整備に反映されていくのか、楽しみにしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。これをもちまして、第16回ブロック部会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

以上